

みらいほしぞら新聞

大分市佐賀関4057-419 火曜日休館
TEL.097-574-0100

7月	8月	9月	10月
満月 3日	満月 2日	下げん 7日	下げん 6日
下げん 10日	下げん 8日	新月 15日	新月 15日
新月 18日	新月 16日	上げん 23日	上げん 22日
上げん 26日	上げん 24日	満月 29日	満月 29日
	満月 31日		

夏の三大角をさがそう!

下の丸い星図を使って、書いてある時間を参考に方向を合わせ顔を上げてみましょう。目立つ三角形が夏の三大角で、こと座の一等星「ベガ」が一番明るく白く美しくがやいていて、まさにおひめ様のような。残る2つの明るい星はそれぞれわし座「アルタイル」、はくちよう座「デネブ」です。はくちよう座は天の川にそって飛ぶように位置しています。尾(お)の意味を持つデネブは、はくちようのしっぽにあたり、むねの星のところで十字に交差してくちばしがのびています。十字の星のならびを見つけたら、はくちようのすがたを思いがいてみましょう。形のよい十字なので「北十字」ともよばれることも。こと座、わし座は天の川をはさんでいるため、夏の三大角は天の川をさがすときの目印にもなります。天の川はたくさん星が集まって雲のようにぼんやりと見えます。目につく明るい星よりもとても遠いところにあり、そのため暗くあわいので月明かりや町の明かりでかくれてしまい、なかなか見つけられません。新月の時や山や海などに出かけた時にちよう戦ってみましょう。

見分け方

3つの中でいちばん明るい星

十字のように星がならんでいたら、はくちようのすがただよ

こと座
七夏の物語のおりひめ様にあたる星がこと座です。真夏の女王という別名があるように、夏の星空の中でいちばんかがやきを、はなっています。天の川の西岸に位置しています。落ちる篇(わし)という別名があります。

はくちよう座
しっぽ、尾という意味を持つデネブ。デネブは、はくちよう座のしっぽの部分がかがやいています。羽をひろげたような白鳥のすがたで、十字にかたち作られ、天の川というたくさんの星が集まって川のように見える部分にそうように見えています。

わし座
七夏の物語のひこ星にあたる星がアルタイルです。牽牛(けんきゆう)ともいわれ、ひこ星の両横に小さな星をしたがえているのがアルタイルの目印になります。天の川の東岸に位置しています。飛ぶ篇(わし)という別名があり、ギリシャ神話では大神ゼウスが化けたワシとされています。



大分県でいちばん大きな望遠鏡!

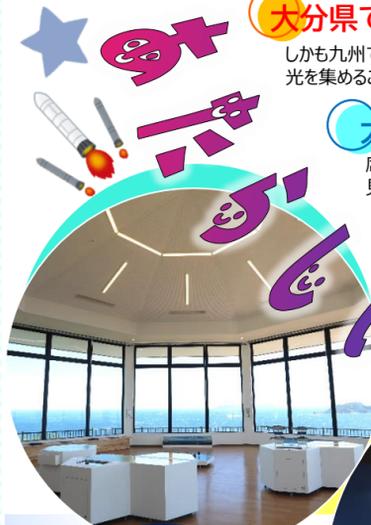
しかも九州では2番目!望遠鏡に使われている鏡の直径はなんと83cmもあるよ。これまでの60cmにくらべると、よりたくさんの星の光を集めることができるからもっとと観察しやすくなるよ。太陽望遠鏡のえいぞうはプラネタリウムのドームにもうつせす!

大分では初めて、毎日公開をするプラネタリウム!

席は22席と少ないけれど、最新のデジタルプラネタリウムで宇宙空間をたどったり、過去や未来の星空も見る事ができるよ。もちろん、楽しい投えい番組もあるよ!

宇宙や海洋を見てさわって楽しんで学べる展示ホール!

見たり読んだり、さわってみたり。そしてゲームやパズルで楽しく学べるてん示ホールとてん示室。他にもわくわくするようなものがたくさん。27年間かつやくした望遠鏡もなんとてん示中!



海星館のなまえが
あたらしく
なったよ

JX金属 関崎 みらい海星館



プラネタリウムは予約が必要なので、海星館のホームページをお家の人といっしょに見てね。このほかにも小さな子どものためのプラネタリウムや、天文台で観察をする前に見ておくと楽しくするプラネタリウムもあるよ。

料金表

区分	プラネタリウム	天体観測室見学
個人		
大人	500	420
高校生	250	210
小・中学生	100	中学生以下無料
団体		
大人 10名以上	400	340
高校生 10名以上	200	170
小・中学生	80	中学生以下無料



星をみよう

2023年の伝統的七夕は8月22日です。

北極星ポリス

北斗七星

夏の三大角

アルビレオ

はくちよう座アルビレオ
はくちよう座のくちばしの星の名前はアルビレオ。目では1つの星しか見えませんが望遠鏡で見ると2つの星がみえます。色の対比がきれいな二重星で「銀河鉄道の夜」の中で宝石にたとえられています。

南を向いて空を見上げた時の見え方です。円の中心が頭の真上の空になります。

7月15日 午後10時
8月1日 午後9時
8月15日 午後8時

月のみちかけを体験しよう!

新しくできたんじ物のひとつ。「月のみちかけ」体験そうち。太陽と月と地球の位置関係をここで体験できます。たとえば太陽と月が同じ方向にある時、地球からはどう見えるの?上弦の月が見えるとき、月と太陽と地球の位置関係はどうなるのかな?など、体を使って覚えることができます。丸い台のところに立って、太陽ボタンをおすと、太陽が光り月が地球のまわりを動き始めます。地球はそう、この台に立っている君なんだ!お店には「月のみちかけをながめよう」という本もはん売しているので、もっとわくわく学ぶことができます。

土星と木星 4つ見える?

土星は8月半ばから、木星は10月半ばから夜の9時ごろに目にとまるようになります。土星はみずがめ座、木星はおひつじ座のところで見えているので秋がみごろです。海星館の大きな望遠鏡で観察してみたいですね。ぜひ見に来て下さいね。

わく星は星座の星とはちがって動きが大きいんだ。わく星は、太陽に近いほど動きが速いんだ。地球の兄弟星たちを、太陽に近い順にしようかい!太陽に近いには8個のわく星があつて、地球は第3わく星なんだ。太陽は地球の109倍も大きいんだよ!木星は地球の約11倍、土星は地球の約9倍もあるんだ!

わく星は、自分では光らないよ。太陽の光を反射して明るく見えているんだ。太陽のように、自分で光る星を恒星とよんでいるよ。

おいきんちかもくどってんかい!!

数えてみよう。流れ星☆

流れ星の正体は宇宙空間にある小さなすりや岩石のかけら。すい星の尾にある氷のつぶなどなんだよ

★ペルセウス座りゅうせいぐん
ピークは8/13ごろ。多い時は40~50個(1時間)見られることも!晴れた夜は、1週間くらい前から星をみる時間をつくらう。

★はくちよう座りゅうせいぐん
8/18がピーク。数個程度で少ないけれど明るく、途中でばく発するような火球が見られることも。

★10月りゅう座りゅうせいぐん
10/9がピーク。ふわっとした流星が1つでも見られたらラッキー

★オリオン座りゅうせいぐん
10/22がピーク!けど以後も数に変化は少ないので見てみよう。オレンジ色の明るい流星が多いそうだよ。

お月見をしよう

ブルームーン・スーパームーン

8月31日

中秋の名月 9月29日

後の名月 10月27日

◆むかしのこよみ(旧暦きゅうれき)で8月15日の月を「中秋の名月」とよんでおそなえなどをしてお月見をしました。サトイモのしゅうがく時期でもあるので「いも名月」というよび方もあります。むかしのこよみで9月13日の月を「後の名月」とよんでこの時もお月見をします。中秋の名月は中国から伝わってきたものに対し、後の名月は日本独自にうまれたものとされています。どちらもすきやだんご、しゅうかくしたものをそなえ感しゃの気持ちをあらわしたそう。ほかにもおなかをすかせた子どもたちがおそなえ物を食べてもいよいよわさど、お団子を小さくして食べやすく、すすきの水は美しいものにしておいたそう。神様に近いぞんざいである子どもを守るため、と聞くともかしの人たちのやさしい心に感謝したくなりますね!

◆8月は満月が2回もあります。二回目の満月を「ブルームーン」とよぶこともあつて(諸説あります) シアワセになれる。なんてお話もあるくらゐなので見上げてみてください。8月31日のこの満月は、地球から近いところ満月になるので見かけも少し大きいですよ。とはいっても、右の写真のように、くらべる月があればわかりますように月を見てよくわからないかもしれません。それでもとても明るく感じると思っています!